

サイレージ用・青刈用とうもろこしの決定版
スノーデント1号・2号・3号

倒伏に強い 根の張りが良く、稈が強健である。
病害に強い 糊熟～黄熟期まで緑葉を保ち、下葉の枯上りが少ない。
栄養収量が高い 穀実生産量およびTDN収量が高い。

除草剤…播種直後に土壤処理

ロロックス 10アール当り 150㍓
 (メヒシバなど1年生イネ科雑草の発生を抑える)

アトラジン 10アール当り 200㍓
 (ゲザプリム)(アカザなど1年生広葉雑草の発生を抑える)

この2除草剤を水100～200リットルにうすめて、畑全面に均一に散布。

風のない早朝か夕方にムラなく極めて丁寧に散布して下さい。

〈注意〉アトラジン(ゲザプリム)はとうもろこしに選択的に薬害ありませんが、ロロックスはとうもろこし発芽後に散布すると薬害を生じますから、必ず、とうもろこし播種直後(発芽前)に散布すること。

スノーデント1号(サイレージ専用)

- ◎やや短稈の早生種。
- ◎葉の病害に強く、穀実収量が多い。
- ◎雌穂の着生位置が低く、倒伏に強い、機械刈最適種。

スノーデント2号(青刈・サイレージ兼用)

- ◎草丈伸長の良い中生種。
- ◎各種病害に強く、強稈で倒伏に強い。
- ◎生草収量、穀実収量ともに高く、青刈、サイレージ兼用種。

スノーデント3号(青刈専用)

- ◎茎太く、葉数の多い、多収な晩生種。
- ◎葉の病害にも強く、強稈で倒伏にも強い。
- ◎密植適応性も高く、機械刈栽培に最適。

サイレージ用とうもろこしの収穫適期

- 下表のとおり、黄熟期に10アール当りTDN収量は最高となり、収穫の適期。
- 台風シーズン前に黄熟期に達する早生系品種を選定する。

第2表 サイレージ用とうもろこしの栄養収量(TDN)は黄熟期が最高

収穫時期	水分(%)	10生草当り重り(t)	10乾物当り重り(t)	10TDN当り収量(kg)	1TDN当り収量(kg)	TDN(%)	同左比率(%)
出穂期	83.5	5.3	0.9	501	6.6	9.4	84
乳熟期	79.0	6.2	1.3	694	7.8	11.2	100
糊熟期	75.4	5.5	1.4	765	8.7	13.9	124
黄熟期	72.2	4.9	1.4	859	7.6	17.7	158

(農林省草地試験場)

サイレージ用とうもろこし栽培のポイント

播種期…4月下旬～5月上旬(霜の心配がない程度に早めに播種)

播種量…3キロ(10アール当り)

施肥量…堆肥3～5トン チッソ12^{キロ}、リンサン15^{キロ}、カリ10^{キロ}(各成分量)

栽植密度…畦幅60^{センチ}×株間45^{センチ}、2本立 } 6,000～7,000本
 〳 70^{センチ}× 〳 35^{センチ}、2本立 }
 〳 80^{センチ}× 〳 30^{センチ}、2本立 } が適切

第1表 サイレージ用とうもろこし品種比較

(千葉研究農場昭50)

品種名	絹糸抽出期	稈長	着穂高	倒伏	病害	熟度	生草総収量	同左比率	乾物総収量	乾物穀実収量	同左比率
ニューデント115日	7月18日	240cm	115cm	4%	++	黄熟	5,851kg	82%	1,475kg	646kg	119%
交3号(TC5号)	19	230	123	12	++	〳	5,757	81	1,504	522	96
スノーデント1号	20	241	118	3	+	〳	6,657	94	1,563	628	115
スノーデント2号	22	236	108	6	+	〳	6,607	93	1,432	565	104
ニューデント120日	22	258	128	8	+	糊熟	6,620	93	1,448	519	95
長野1号(黄デント)	23	300	159	22	+++	〳	7,117	100	1,834	545	100
白色デント	23	302	164	23	++	〳	7,921	111	1,709	482	88
交1号(長交227号)	25	293	161	21	++	〳	7,975	112	1,701	457	84
スノーデント3号	30	287	155	5	+	乳熟	7,315	103	1,583	308	57

註 栽植本数：10アール当り 5,700本